

# 京都薬科大学大学院薬学研究科 薬学専攻博士課程（4年制）



社会を動かす薬学へ。



## 京都薬科大学

# 薬学のエキスパートをめざして、さらなる「研究」のステージへ

## 薬学専攻博士課程アドミッションポリシー

本専攻は6年制学部を基礎とする博士課程であり、薬学の様々な学術分野における高度な専門的学識と独創的な研究能力を有した基礎及び臨床薬学研究者並びに臨床薬剤師の養成を目的としています。また、医薬品開発全般を統括できる人材の養成や専門薬剤師の育成も支援します。このため、薬学関連の学術分野への研究志向をもち、知的好奇心に満ち柔軟な思考能力を有する創造力あふれる学生を求めます。

本専攻は、薬学専攻の特性と社会的要請を考慮し6年制薬学卒業者を主な募集対象としますが、薬剤師資格を有する24歳以上の旧4年制薬学卒業者及び海外の薬学系又は理科系修士課程修了者も対象として国内外に人材を募ります。

## カリキュラム

特論講義5単位以上、研究倫理特論1単位、総合薬学セミナー2単位、薬学研究演習4単位、課題研究20単位の計32単位以上を修了要件とします。また、以下のコース・プログラムにおいて、研究倫理観、プレゼンテーション能力、討論能力、実践的英語力などを向上させ、さらには各自の課題を進めながら博士学位論文作成により臨床薬学のエキスパートあるいは基礎薬学研究者としての自立を目指しています。

### ■薬学専攻博士課程モデルコース

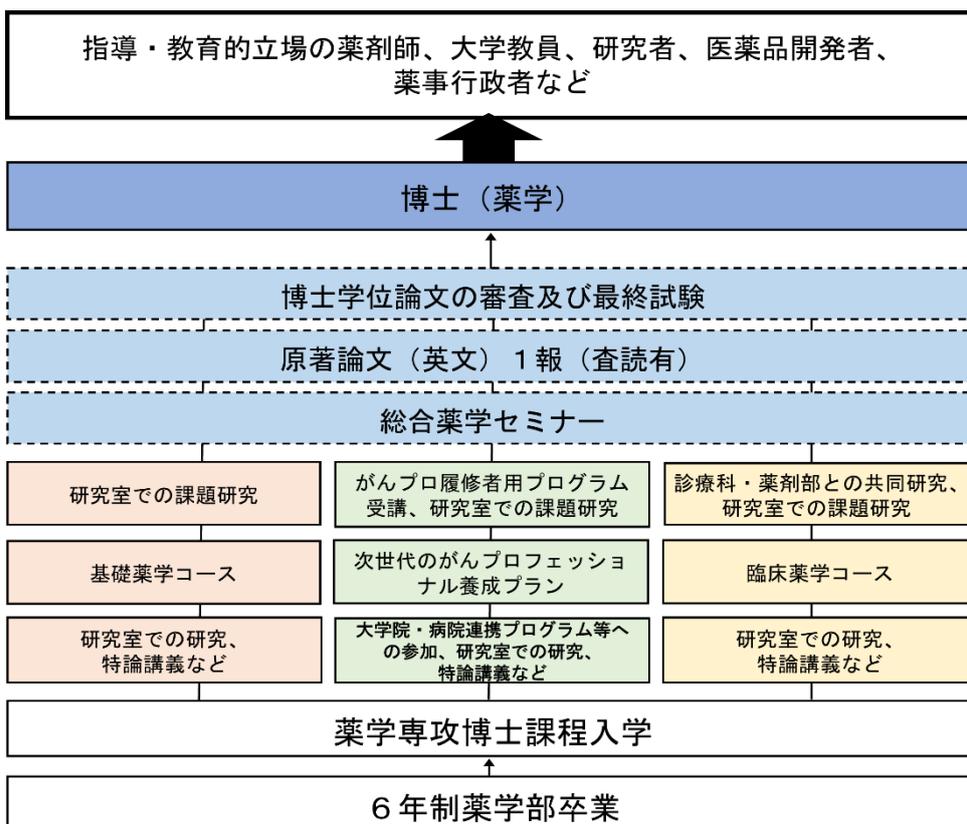
#### 基礎薬学コース

各分野での課題研究を通じて、高度な問題発見・解決能力および研究力を身につけ、様々な薬学領域において高度の専門的な学識や研究能力を有した国際的に貢献できる人材を養成する。

#### 臨床薬学コース

連携する病院薬剤部などで1～2年間の研修を通して、医療現場での実践的な教育研究を行う。薬剤師としてチーム医療を実践しながら、臨床と基礎の橋渡しとなるトランスレーショナル研究を実施することにより、臨床薬学研究能力を養う。

「次世代のがんプロフェッショナル養成プラン」では、「がん患者のQOL向上および終末期医療を担う人材養成コース」および「近未来の医薬品・治療法の開発を担う人材養成コース」を設置し、患者さんのライフステージに応じたテーラーメイド医療を実践できる薬剤師・創薬研究者の養成と、近未来の治療に対して指導的立場となる薬剤師や医薬品を開発できる薬剤師の育成を目指しています。



大学と病院との連携プログラム  
病院薬剤部等と連携し、薬剤師として診療科の病棟などでチーム医療を実践します。また、研究室と医療機関は共同で臨床薬学的な研究及び臨床と基礎の橋渡しとなるトランスレーショナル研究を実施します。

## 大学院トピックス

### ■「次世代のがんプロフェッショナル養成プラン」設置

医療の進歩に伴いさまざまな治療方法が確立されていますが、がんは依然として我が国の死因第一位の疾患です。第4期がん対策推進基本計画において定められた全体目標「誰一人取り残さないがん対策を推進し、全ての国民とがんの克服を目指す」に向けて、がん医療に関する基本的な知識や技能を有し、がん医療を支える医療従事者の養成が求められています。京都薬科大学では、文部科学省が実施する「次世代のがんプロフェッショナル養成プラン」に参画し、がん医療の新たなニーズや急速ながん医療の高度化に対応できる医療人の育成を目指した取り組みを行っています。本学では、京都大学・滋賀医科大学・三重大学・大阪医科薬科大学を含む5大学間の連携により実施する事業「高度化・多様化するがん医療を担う人材育成」を通して、

- ・がん医療の現場で顕在化している課題に対応する人材
- ・がん予防の推進を行う人材
- ・新たな治療法を開発できる人材

の育成に取り組んでいます。

### ■京都4大学連携機構

本学、京都工芸繊維大学、京都府立医科大学、京都府立大学の4大学は、2011年に「ヘルスサイエンス系の教育研究の連携に関する協定」を締結し、京都4大学連携機構を設置しました。また、ヘルスサイエンス分野における教育研究を推進する「京都ヘルスサイエンス総合研究センター」が設置されました。同センターでは4つの研究グループが編成され、2012年度から共同研究が行われています。

## 大学院生へのサポート

### 教育研究支援

学生の教育研究を後押しする充実した支援制度

#### ■リサーチアシスタント(RA)制度

原則としてRA給与年額約120万円を全員に支給

#### ■奨学金制度

- ・選考により日本学生支援機構奨学金又は本学奨学金を受けることができる
- ・京都薬科大学大学院生研究奨励奨学金(年間2名)  
「次世代のがんプロフェッショナル養成プラン」履修学生を対象に、年間30万の研究奨励奨学金を支給。4年間継続受給可。

#### ■短期海外留学支援制度

大学院在学中1回に限り、3ヶ月以上1年以内の海外留学を支援(留学費用を150万円を上限として大学が負担)  
留学先実績: Leipzig University(ドイツ)、University of Mainz(ドイツ)  
UCL School of Pharmacy(イギリス)、ワシントン州立大学(アメリカ)  
Agency for Science, Technology and Research (A\*STAR)(シンガポール)

#### ■学会発表参加支援制度

発表者に限り、1人年額8万円以内を限度として支給(次年度まで繰越可)

#### ■入学金免除

本学6年制薬学部卒業見込者が引き続き大学院へ進学する場合に入学金を免除

#### ■授業料免除

経済的理由により授業料納付が困難な場合、授業料を免除(要審査)

### 就職支援

#### ■ガイダンス等

各種進路ガイダンス実施(学部合同)  
学内合同説明会実施

#### ■個別面談

希望者全員に個別面談を実施  
エントリーシート作成から模擬面接指導まで、要望に応えた支援の実施

#### [修了生の主な進路]

- 大学教員
- 博士研究員
- 企業研究職
- 病院薬剤師
- 薬局薬剤師

## 入学試験情報

■入学試験日 夏季募集、冬季募集の年2回(8月・1月)

■入学定員 10名

#### ■入学者選抜方法

面接および試問を以て行う(卒論またはそれに相当する研究業績の発表および質疑応答)

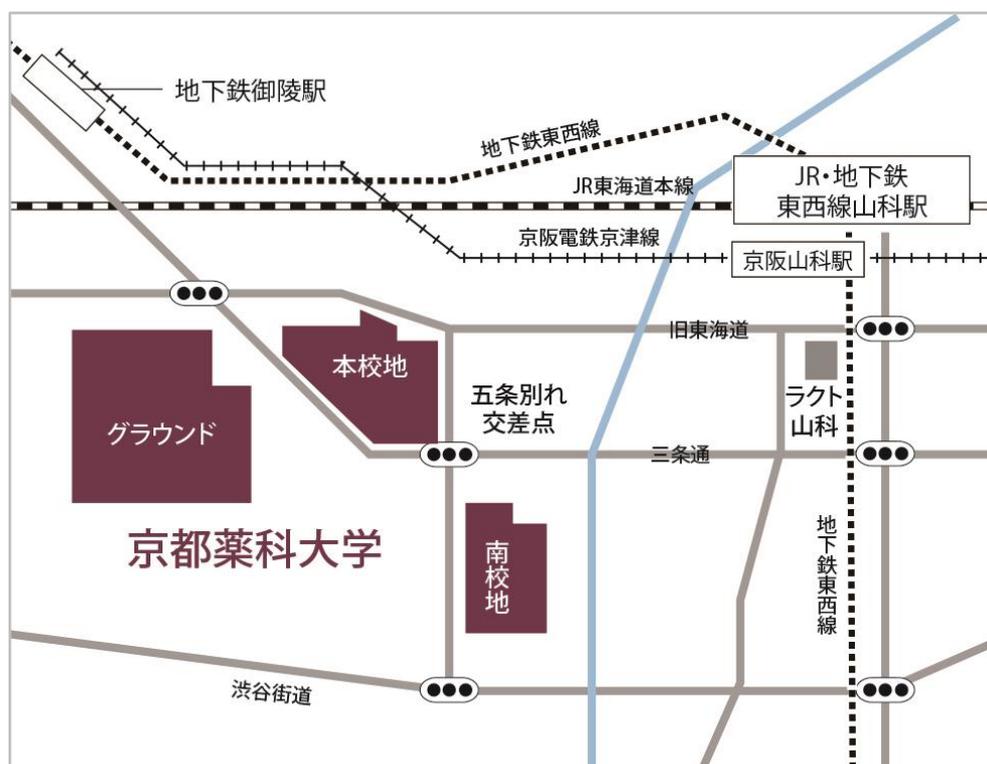
■入学検定料 25,000円

#### ■納付金

入学金: 10万円(本学6年制薬学部卒業見込者は免除)

授業料: 年間 70万円





社会を動かす薬学へ。



京都薬科大学

**本校地** 〒607-8414 京都府京都市山科区御陵中内町5

**南校地** 〒607-8414 京都府京都市山科区御陵四丁野町1

TEL : 075-595-4600 (代表) / FAX : 075-595-4750 (代表)

URL : <https://www.kyoto-phu.ac.jp/>